

1994年8月4日
HSK 毎月12回(1)
第三種郵便物承認
13
15
18
20
23
25
28日発行

増刊HSK ステップ

石川県肢体不自由児協会

石川県肢体不自由児者父母の会連合会

第24号

平成27年8月7日発行



ご挨拶

石川県肢体不自由児協会
石川県肢体不自由児者父母の会連合会
会長 松田 郁夫



会員の皆様には、日頃より本会の事業に対して格段のご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

皆様のご協力のもと、第59回定期総会を津幡町・石川県森林公園わくわく森林ハウスにおいて開催することができました。総会には多くの会員様とともに、地元津幡町矢田富郎町長をはじめとするご来賓や理事の方々にご出席をいただき、津幡町父母の会の皆様や関係者の方々のご尽力により無事終了することができました。改めて御礼申し上げます。また、総会後には石川県リハビリテーションセンターの作業療法士寺田佳世氏による「日常生活を送る上での対応と工夫」と題した講演会を行い、会員の皆様より好評をいただきました。

さて、来年度には第60回の定期総会を迎えます。昭和30年の「金沢手足の不自由な子どもを守る会」の設立を機に、昭和32年には現在の「石川県肢体不自由児協会」・「石川県肢体不自由児者父母の会連合会」が初代会長駒井しづ氏のもと設立されました。当時の会員の方々の多くの困難に立ち向かう勇気と努力は現在の私たちには計り知れませんが、その功績の上に現在の会があることを忘れてはなりません。時代とともに社会も変化し、障がい児者の環境も大きく変化しています。そのような中、今でも私たち家族が子ども達の最高の理解者・支援者として支えています。ある地域で、災害について話し合われている際の意見で「どうせ逃げられないから二人で一緒に死のうね。と、息子と話しています。」と発言し、会場からの拍手を誘ったそうです・・・

どう思ふかは各人の考えです。そして一方、障がいのある子ども達が地域で多様な生活を送るには、親の介護ありきではない本人主体の支援を行う視点も必要であると思ひます。子どもの頃から普段の生活の中で親以外の支援を受けることにより、自身の自立と社会参加の意識が広がると言えます。自分らしく生きて行く為に必要な環境・社会の構築にはそれぞれに違いもあり、ゴールはありません。

今後も地域父母の会が連携して研鑽を積み、各機関や地域住民との相互理解を深め、子ども達が素敵な社会生活を送れるよう一緒に活動していきましょう。本年度も変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



講演会

日常生活を送る上での対応と工夫

県リハビリテーションセンター 作業療法士 寺田 佳世氏

5月13日(水)総会終了後、石川県リハビリテーションセンター作業療法士 寺田 佳世氏による講演会がもたれました。多数の写真を用いた具体的な事例の紹介があり、大変有意義な時間となりました。

《講演の要旨》

県リハセンターの役割

◆障害がある人の自立支援および
社会参加の支援

◆バリアフリー社会の実現



概要

地域リハビリテーションセンター

- ・地域活動支援 (特別支援学校、一般学校、障害児者施設等)
- ・普及啓発活動 (研修会などの実施)

バリアフリー推進工房 (企業や公的施設等へのバリアフリー支援)

難病相談・支援センター (小児慢性特定疾患の相談・支援も開始)

高次脳機能障害相談・支援センター

取り組み

①自立支援

- ・その人の可能性を見出す (残存能力・潜在能力)
- ・社会への参加

②介護負担の軽減

- ・支援者への相談・支援 (介護負担の軽減)



具体的事例（脳性麻痺、くも膜下出血、ALS等）

③人とのコミュニケーションを支援

個々に合ったスイッチの実用化

- ★ テレビリモコン、呼びベル
- ★ 会話補助装置
- ★ パソコン作業（マウス利用、小型キーボード）
- ★ 光ファイバースイッチ、装具スイッチ 等

④食事への関わり

（事例：箸を使えるようになってほしい、という要望）

アドバイス

- ★ 握り方の発達過程の理解
- ★ 食事自助具の利用（持ち手つきスプーン、補助箸、縁のあるお皿）

⑤排泄への関わり

トイレ環境の検証用実寸モデルの紹介

- ★ 自立用トイレ、・介助用トイレ
- ★ 座位保持装置の紹介
- ★ 便器での姿勢保持

⑥入浴への関わり

浴室の改造・姿勢保持

- ★ 洗い場での昇降機装置の利用
- ★ 洗い場での洗い台や手すりの位置等
- ★ 3枚引き戸の利用
- ★ リフト（天井走行リフト、床走行式リフト）
- ★ 姿勢保持と洗体がし易いシャワーチェア



※ 他にも、自分で移動する・生活の中での注意点・成長期の身体の変形について など、多くのスライド等でご説明いただき、大変参考になりました。

◆参加された会員の方からの質問

- Q1：補助を受けず、自己費での車いすを作る場合どのような手順で行えばよいか
- Q2：車の免許取得に関する（実地試験等）質問

それぞれリハセンターへの相談を通じて解決していくというお話でした。

※リハセンターへの相談は無料ですが、事前に電話での予約が必要となります。



**** 平成 27 年度 第 59 回 定期総会 ****

平成 27 年 5 月 13 日 (水) 木々の緑がまぶしい石川県森林公園わくわく森林ハウスにおいて当協会の定期総会が開催されました。会長の開会挨拶から始まった総会は終始和やかに進行され、総会後半には 9 名の永年勤続者の皆さまが表彰されました。(敬称略、順不同)



いしかわ特別支援学校 (能村 重信、吉村 伸子) 明和特別支援学校 (福田 貴子) 小松瀬領特別支援学校 (東野 美佐、山岸 敏洋、松野 直明) 医王特別支援学校 (若松 里絵) 石川整肢学園 (中野 ちさと) あおぞら福祉会フォーラムののシティ (浦川 裕子)

日頃より家族と子どもを支えてくださっていることに深く感謝申し上げます。

議題審議の方も、参加者の皆様のご協力により滞りなく終える事が出来ました。ありがとうございました。



**** 平成 26 年度 役員名簿 ****



役 職 名		氏 名	役 職 名	氏 名
会 長		松 田 郁 夫	津幡町父母の会	紺 井 好 美
副会長		高 松 昌 一 郎	かほく市父母の会	森 下 京 子
		紺 井 好 美	七尾・鹿島父母の会	坂 井 達 雄
常任顧問		大 寺 温	輪島市父母の会	熊 野 真 由 美
監 事		花 本 隆	能登町父母の会	高 田 恵 利 子
		高 村 藤 貴	石川県立明和特別支援学校 PTA	百 津 秀 代
常任理事	小松市父母の会	上 田 由 美 子	石川県立いしかわ特別支援学校 PTA	吉 田 映 子
	能美市父母の会	山 岸 郁 代	金沢こども医療福祉センター健睦会	澤 美 辰 美
	白山市父母の会	小 島 克 子	あゆみ療育の会	松 本 茂 美
	野々市市父母の会	林 弥 生		
	金沢市父母の会	高 松 昌 一 郎	事務局 事務局長	野 畠 悟
	内灘町父母の会	船 本 礼 子	事務局 事務局員	林 和 子

役員の任期=平成 25 年度総会から 27 年度総会まで
 ※常任理事氏名の下線は、各地域での変更に伴う新役員
 ※理事氏名の下線は、異動に伴う新役員

各市町父母の会、あゆみの会、いぬわし会に
今年度の抱負をうかがいました

(輪島市) 会員数が少ない事と親達もそれぞれ仕事をしている為活動する機会は少ないですが、困ったことや、やりたい事があれば相談しあい、無理なく交流ができればよいと思っています。



(かほく市) 親子・会員・ボランティアさんが、より仲良くなれるよう、恒例行事に加え、ぶどう狩りパン作りを計画しました。そして小さな悩みであっても話せる場、雰囲気を目指しています。

(津幡町) ラフの会として参加する行事がたくさんありますが、ラフ独自の活動があまりできていなかったのが、今年度は多くできたらと思います。まずは夏の親子レクリエーションを！

(内灘町) 今年は、11月15日(日曜日)・13時半から、富山県・「ふらっと」・宮袋 季美さんに講演して頂くことになりました。内灘以外の方も福祉に興味のある方も、聞いて頂きたい。



(金沢市) 今年度、ヘルプカードの啓発を含め「防災」に関する勉強会をします。あわせて会員の住所マップ台帳を作成し、事務局で保管する計画です。東京都では、ヘルプカードの案内ビデオを作成し YouTube でも公開されていますので、Yahooなどで「ヘルプカード 東京都」と検索いただき、是非ご覧ください。

(野々市市) 年4回の懇談会を開き会員の方々の現況報告を話し合う。色々な行事に参加を促すとともにプルタブ、ペットボトルキャップを集める運動を継続していきます。



(小松市) 会員も少なく、支部としての活動は何もできていません。今後連絡を取らせていただき、近隣支部の方々とも一緒に交流を持てたらと思っていますので、よろしくお願いいたします。

(白山市) 昨年も、全く活動できずに終わってしまいました。中々活動はできませんが、よろしくお願いいたします。

(あゆみの会) 今年度は会員全員が休みなく訓練に出席出来て、楽しくやっていくことを目指しています。親子で参加する訓練ですが、親の都合が悪い時でも訓練を続けられる環境づくりを考えていきます。

(いぬわし会) 年3回の行事ですが、協会会員なら年会費は不要です。家族の方やヘルパーさん同伴で参加の方もおいでます。一緒に参加して思いや悩みを話して、楽しく過ごしましょう。



◆日本肢体不自由児協会より◆

最近の障害福祉情勢について 今後の障害児支援の在り方
平成27年6月19日

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部
障害福祉課 障害児・発達障害者支援室
室長補佐 大西 延英

障害者総合支援法施行後3年を目途とした見直し事項

障害者総合支援法附則第3条においては、施行後3年（平成28年4月）を目途とした見直しとして、以下の事項を見直すこととしている。

常時介護を要する障害者等に対する支援、障害者等の移動の支援、障害者の就労の支援その他の障害福祉サービスの在り方

障害支援区分の認定を含めた支給決定の在り方

障害者の意思決定支援の在り方、障害福祉サービスの利用の観点からの成年後見制度の利用促進の在り方

手話通訳等を行う者の派遣その他の聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため意思疎通を図ることに支障がある障害者等に対する支援の在り方

精神障害者及び高齢の障害者に対する支援の在り方

※上記の検討に当たっては、障害者やその家族その他の関係者の意見を反映させる措置を講ずることとされている。

在宅で生活している障害児数（推計値）：約21万5千人

（生活のしづらさ調査(H23)）

→ 18歳未満人口（約2033万9千人）の1.1%

- （内訳） ・障害者手帳保持者 19.9万人
・障害者手帳は非所持だが障害福祉サービス等を利用している者 1.6万人

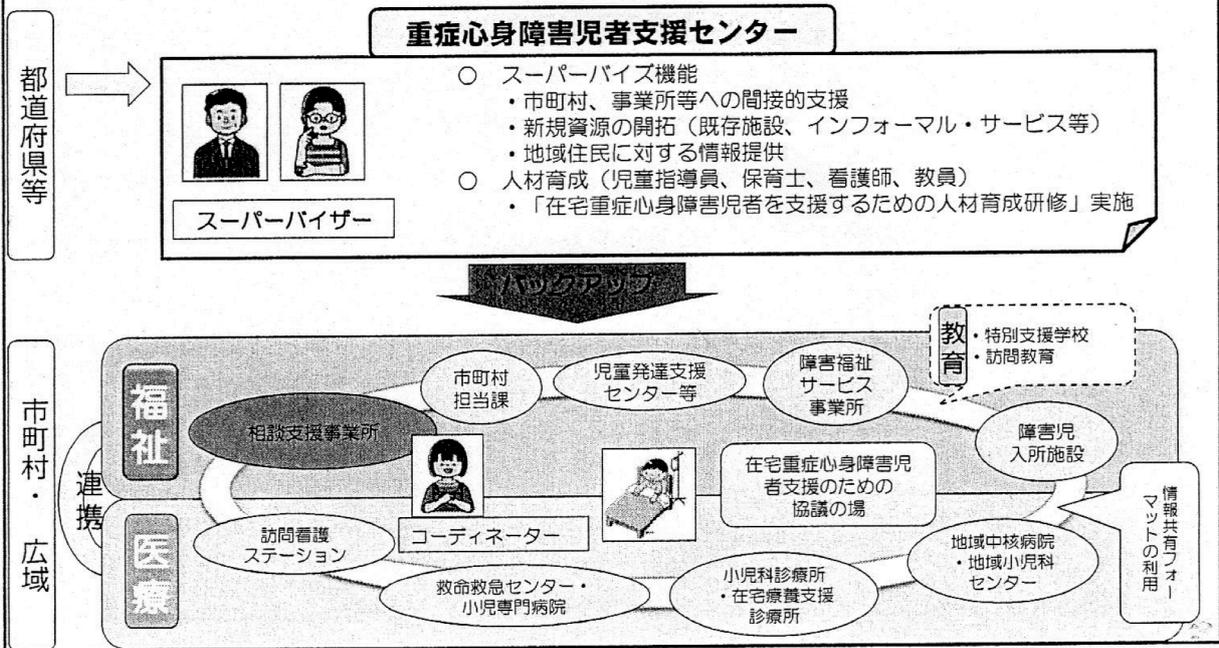
〈身体に障害のある児童〉 7.3万人（在宅で生活しており身体障害者手帳を持っている者の数（H23） 前回調査時（H18）は9.3万人）
※施設入所児童は約0.5万人（H21）

〈知的障害のある児童〉 15.2万人（在宅で生活しており療育手帳を持っている者の数（H23） 前回調査時（H17）は11.7万人）
※施設入所児童は約0.7万人（H23）

重症心身障害児者支援体制整備モデル事業（平成27年度・イメージ）

重症心身障害児者への支援の強化・充実を図るため、地域の中核となる重症心身障害児者支援センターを設置し、市町村・事業所等への支援、医療機関との連携等を行い、地域全体における重層的な支援体制の構築を図る取組みを進める都道府県・指定都市・児童相談所設置市に対して補助を実施する。

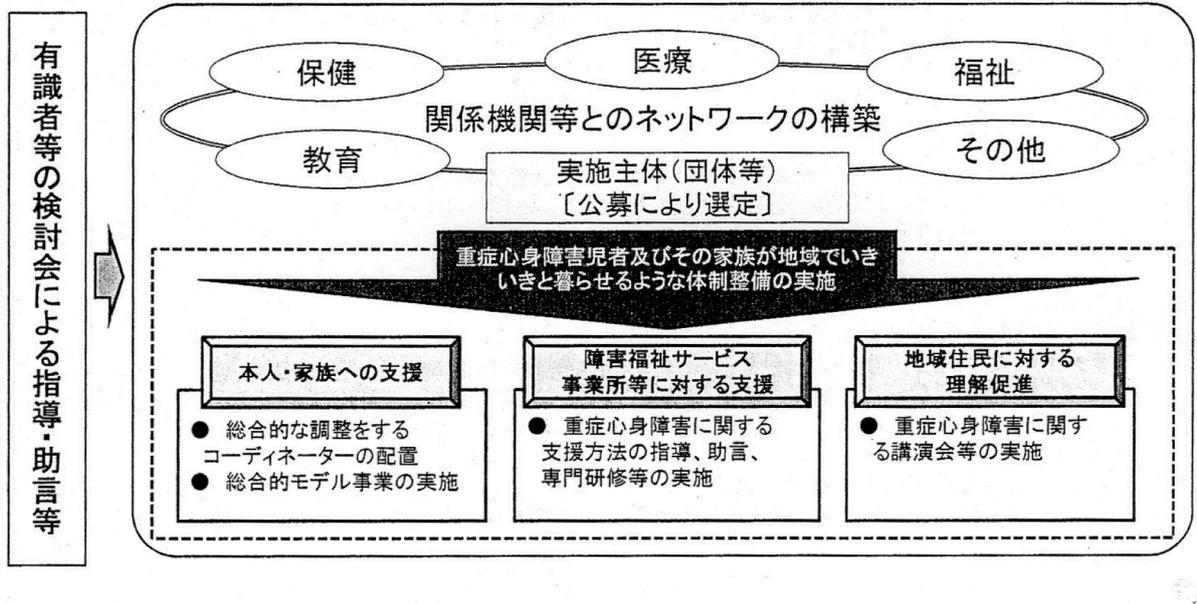
※将来的には、全ての都道府県・指定都市・児童相談所設置市の設置を目指す



重症心身障害児者の地域生活モデル事業

【平成24年度～】

重症心身障害児者及びその家族が安心、安全に地域でいきいきと暮らせるよう、効果的なサービスの利用や医療、保健、福祉、教育等の関係施設・機関の連携の在り方等について、先進的な取り組みを行う団体等に対して助成を行い、あわせて地域住民に対する理解促進や障害福祉サービス事業所等に対する支援を行うことにより、重症心身障害児者に対する地域支援の向上を図る。



お知らせコーナー

さわやかレクリエーション

本年も会員交流の機会である上記の会を予定しています。リズムやスポーツで会員交流と楽しく身体を動かし、新たなスポーツに挑戦してみましょう。

- 1、期日 平成27年11月1日(日)
- 2、会場 障害者高齢者体育館「駅西むつみ体育館」
- 3、その他 (担当 金沢地区。内容は後日案内を致します)

バザー等の案内と協力依頼

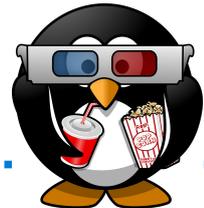
「金沢福祉の集い」
期日 平成27年9月6日(日)
会場 松ヶ枝福祉館

「石川県障害者フェスティバル」
期日 平成27年10月11日(日)
会場 石川県産業展示館4号館



上記の両会に例年のように本会として出店致します。誠に申し訳ありませんが各家庭で不使用の提供品等ありましたら、何卒ご協力の程よろしくお願いたします。
(事務局へ連絡いただければお伺いします)

お楽しみ映画鑑賞会



今年度も金沢兼六ライオンズクラブ様より映画招待がありました。
期日は8月30日(日)で会場は例年のようにユナイテッド・シネマ高柳の予定です。
映画のご案内と申し込み書を配布しますのでご家族での鑑賞を楽しんで下さい。

編集後記

本格的な夏をひかえ、皆さんいかがお過ごしでしょうか?

今年度、新しく2名のスタッフがステップを作成しています。不慣れゆえ苦戦しつつも見やすい紙面を心掛けて作成しています。今年度も様々な行事が計画されていますので、沢山報告できたらいいなと思っています。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。

作成スタッフ一同

** お問い合わせ・ご連絡 **
お気軽にお電話ください。

編集人：石川県肢体不自由児協会
石川県肢体不自由児者父母の会連合会
連絡先：〒920-8557(事務局)

金沢市本多町3-1-10
石川県社会福祉会館内
電話・FAX 076-224-6126

Eメール ishikawakenshiren@movie.ocn.ne.jp
発行人：北陸障害者定期刊行物協会
富山市今泉312 定価 50円